

# 独立監査人の監査報告書

令和2年4月17日

公益社団法人日本工学アカデミー  
理事会 御中

津谷公認会計士事務所  
公認会計士

津谷 晴一



私は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、公益社団法人日本工学アカデミーの平成31年4月1日から令和2年3月31日までの2019年度に係る貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドラインII-4の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

## 財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 利害関係


公益社団法人日本工学アカデミーと私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

監査報告書

令和2年4月22日

公益社団法人日本工学アカデミー  
会長 阿部 博之 殿

公益社団法人日本工学アカデミー

監事 谷口 功 

令和元年度監査報告について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第36条に規定する下記要件を満たしていることを報告します。

記

一. 監事の監査の方法及びその内容

事業報告・収支決算書に基づき、事業・財産及びその収支の状況を監査した結果、適正であると認める。

二. 計算関係書類が当該公益社団法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているかどうかについての意見

貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳書、正味財産増減計算書（参考）、財務諸表に対する注記、財産目録、収支計算書において適正に表示していると認められる。

三. 追記情報

特記事項とはありません。


四. 監査報告作成日：令和2年4月22日

監査報告書

令和2年4月25日

公益社団法人日本工学アカデミー  
会長 阿部 博之 殿

公益社団法人日本工学アカデミー

監事 日野光元 

令和元年度監査報告について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第36条に規定する下記要件を満たしていることを報告します。

記

一. 監事の監査の方法及びその内容

事業報告・収支決算書に基づき、事業・財産及びその収支の状況を監査した結果、適正であると認める。

二. 計算関係書類が当該公益社団法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているかどうかについての意見

貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳書、正味財産増減計算書（参考）、財務諸表に対する注記、財産目録、収支計算書において適正に表示していると認められる。

三. 追記情報

特になし

四. 監査報告作成日：令和2年4月22日